



# 碧南ロータリークラブ週報

第2258回例会 平成17年3月2日(水) 晴. 最高9.4℃. 最低0.0℃

- 会長 池田 弘孝 ● 幹事 黒田 昌司 ● SAA 小笠原良治
- 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90  
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100  
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>  
E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)
- 会報委員 鶴田光久・杉浦昌裕・石川唯司・竹中 誠

ロータリーを  
祝おう

100年の歩み

2004~2005年度  
国際ロータリーのテーマ



## ● 斉 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング 「奉仕の理想」

## ● 四つのテスト唱和

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

## ● 本日のお客様

卓話講師

(財)オイスカ中部日本研修センター参事 村松 明様

(財) " 研究員 ジミー・ロヨ様

(財) " 指導員 バンバン・ウィディヤント様

## ● 新入会員紹介

愛知県中央信用組合理事長 堀田益隆君 昭和19年4月29日生(60歳)



新入会員 堀田益隆君と池田弘孝会長

## 会 長 挨拶

先週の例会では元気でみえた茂吉不動産の杉浦功哲さんが3日後に突然帰らぬ人になりました。そこで先週杉浦さんが、お座りになられました席にお花とネームプレートをお供えしました。皆さんで黙祷を捧げて、ご冥福をお祈り申したいと思います。「黙祷はじめ」…「黙祷直れ」ありがとうございました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



杉浦功哲様のご冥福をお祈り申し上げます

ライブドアがプロ野球参入の話題の次は、ニッポン放送の株式を40%以上も保有したことにつき、ニッポン放送やフジテレビがあたふたしている場面が報道されています、ついに「法廷闘争」となり、日本の株式市場資本市場に一石を投じ、興味津々となっているところであります。つい思い出されるのが、国際興業の小佐野賢治さんです。当時の時代背景を思い出しますと…。

昭和21年2月17日に実施された「預金封鎖」は進駐軍の施策でしたが、一般の人に、最も大きな影響を与えました。3月からは旧紙幣はまったく使用出来なくなり、旧紙幣に印刷を貼った新円のみが流通することになりました。封鎖された預金は、毎月世帯主が300円、家族が100円のみを新円として、出金することができました。多額の資産を現金で持っていた人の受けた打撃は、

はかり知れないものがあります。戦前のお金持ちのおおくが、このために没落しました。

そんな時代でも財産を増やした人もいました。国際興業の小佐野賢治氏は、戦前に軍部との取引を通じ巨額の現金を保有していました。進駐軍にホテルを貸すことで利益を得ていき、勢いに乗って、大実業家への道を開くことが出来たそうです。

その後田中角栄さんとの接触によりロッキード事件では、国会の証言で「記憶に御座いません」で押し通した方です。いつの世も一般の人には思いもつかぬことを、平気で成し遂げる人がいるもんだと感じたしだいです。

## 新入会員歓迎の挨拶

愛知県中央信用組合理事長 堀田益隆さんの入会を歓迎申し上げます。

ロータリーには見物席はありません。みんな役者のはずです。皆さんのように千両役者もいらっしやれば、私のように大根役者もいます。気楽に活躍してください。今年度のR I会長の方針は「ロータリークラブを祝おう」です。記念すべき100周年の例会は済んだところですが、碧南ロータリークラブは地域で喜ばれるクラブであり続けられるように、各自の職業を通じて「奉仕の理想」を目的としております。堀田さんの今後のご活躍をご祈念申し上げ歓迎の挨拶とします。

## 幹事報告

他クラブの例会変更につきまして、お手元の資料通りです。

本日、理事会が開催されます。よろしく申し上げます。

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数 77名 (内出席免除者 14名) 出席者 61名	
出席対象者 57/63名	出席率 90.44%
欠席者16名(病欠者0名)	前々回修正出席率 95.31%

### 〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

加藤丈太郎君 2月度ロータリーゴルフコンペにて鈴木輝彦君、新美真司君、池田会長の3人の優勝経験者の辞退を得て繰り上げ優勝させて頂きました。

森田 英治君 新入会員堀田益隆さんを紹介させていただきます。

加藤 良邦君 ご無沙汰してます。先日3回続けてメーカーキャップしました。

亀山 裕一君 本日の講師オイスカの村松明さん、ジミーロヨさん、バンバン・ウィディヤントさんをご紹介します。

平松 太君 ようやく還暦です。

長田 和徳君 3月をもちまして日進工業の社長に就任しました。今後ともよろしく申し上げます。

堀田 益隆君 本日より入会させて頂きます。よろしく申し上げます。

早退6件 合計25,000円

### 〈親睦活動委員会〉

3月会員誕生日

15日 小笠原良治君

20日 平松 太君

21日 加藤知彦君



還暦を迎える平松 太君

## 奥様誕生日

10日 犬塚 敦統君の奥様 清子様 13日 奥谷 弘和君の奥様 由紀子様  
20日 加藤 知彦君の奥様 弘子様 24日 小笠原良治君の奥様 恵子様  
28日 杉浦 昌裕君の奥様 もと子様

## 結婚記念日

2日 杉浦 昌裕君・もと子様 30年 16日 長田 徳雄君・利子様 45年  
16日 長田 和徳君・真由美様 14年 20日 平岩 辰之君・範江様 22年  
20日 佐藤 哲至君・周子様 25年 22日 竹中 義雄君・くみ子様 30年  
27日 加藤丈太郎君・美恵子様 42年 27日 杉浦 晴彦君・有実様 28年

## 〈雑誌委員会〉

3月ロータリーの友、歌壇に青木 稔君が掲載されています。

“天空に降る星よりも電飾とう  
地上の星が煌めく師走”

## 〈親睦活動委員会〉

春の家族会を4月24日（日）愛知万博及びロータリー館にて例会開催します。万障お繰り合せのうえご参加下さい。3月23日（水）までに出席を連絡下さい。



碧南市におけるインフルエンザの猛威を説明する。山中寛三君



社会教科書問題の説明と卓話を紹介する。亀山裕一君

## 卓 話

### 「オイスカの植林活動」

◎（財）オイスカ中部日本研修センター 参事 村松 明様

日本の森林を救おうと、オイスカが海外だけでなく国内のふるさと作り、足もとに目を向けようと4・5年前から、国内活動してきました。その1つとして、愛知県北設楽郡の国有林で間伐方法で山を救う活動を、5月6日（金）～8日（日）と、13日（金）～15日（日）で行います。是非ご参加をお願いします。

映像で説明します。フィリピン ルソン島北部ですが、このように山がハゲ山になっています。戦後20年間でラワン材など、日本の建築材にほとんどなると言われています。このような状況が、アジア一带に見うけられます。これは、1部植林を始めた所です。ところどころ青々し始めています。これは、パプアニューギニアにあるラワン材の原木です。これは、フィリピン パラワン島の海岸で、マングローブの植林をしている所です。植えて2年位 台風に会わなければ、根付きます。大きくなれば、スマトラ沖地震の津波を防波堤の役目をして防ぎ、マングローブのあった所は被害が少なかったです。これは、スリランカで森の子供の森計画をオイスカ研修生OBが、各学校をまわって説明しているところです。



村松 明様

◎ (財) オイスカ中部日本研修センター 研究員 ジミー・ロヨ様

私は、フィリピンからまいりました。

フィリピンにおける、オイスカ「子供の森」計画を話します。1900年 フィリピンの森林率は、今の日本と同じ70%でした。1999年では、18.3%しか残ってません。フィリピンの山は、80%がハゲ山です。日本に来たら、日本の山に木がいっぱいあり、それを見て本当にびっくりしました。山とは、こういうものなのかと、とてもきれいな日本の山に感動しました。オイスカはフィリピンに入って、今年で43年になります。アジア・太平洋の国々で農業を教えながら、人づくり、村づくり、森づくりをやってきた団体です。フィリピンでは、木を植える習慣がありませんが、未来を担う子供達が、自分たちの手で森作りをする「子供の森」計画を1991年から始めました。個々のプロジェクトは小さくても、人々が森を大切に作る心を持ち、しっかり森を育てて行けば、フィリピンの森林率が高くなると思います。日本からの支援のおかげで、このような活動が出来ることを本当に感謝しています。これからも、たくさん日本人が海外の環境に目を向け、出来ることはないだろうか、考え行動してくれたら本当に嬉しいです。



ジミー・ロヨ様 (右)

◎ (財) オイスカ中部日本研修センター 指導員 バンバン・ウィディヤント様

私は、インドネシア 中部ジャワからまいりました。インドネシアの森林の面積は、120億Haです。でも不安があります。法律が厳しくても自由に木を切ったり、動物を殺したり、守らない人がたくさんいます。また、5年前にカリマンタンの森で大災害がありました。オイスカを通して林野庁と協力して、植林の援助をいただいています。



バンバン・ウィディヤント様

インドネシアにオイスカ研修センターが5ヶ所あります。主に農業を教えています。さらに、「子供の森」計画とマングローブの植林です。「子供の森」計画は、1993年に始めました。当時の先生や学生は、植林のこと、管理のことを知らないし、やらなかったです。しかし、「子供の森」計画でだんだんとうまくなり、植林について理解してくれました。育てるのに一番困難なのは、水牛やヤギが葉や茎・枝などを食べてしまうのを防ぐことです。植えた後に、竹の柵を作っています。

マングローブの植林について、例えば東京海上がインドネシアで4ヶ所 計741Haの広さで活動しています。オイスカOB研修生がコールディネーターをしており、メンバーはほとんど漁師です。大学の先生を呼んで、ディスカッションなどもします。昔は、エビを育てる為にマングローブを切りました。今はオイスカのように、たくさんマングローブを植えるようになりました。これからも、皆様のご支援とご協力を宜しく願います。

次回例会案内 平成17年3月16日(水)

「今年のプロ野球あれこれ」

CBC 野球解説者 木俣 達彦氏